

あなたの会社をさまざまなリスクから守るために

事業継続力強化計画策定 ワークショップ

企業活動には、地震や風水害、火災、感染症の拡大、サイバー攻撃など、事業継続を脅かすさまざまなリスクが存在します。こうした災害は、いつどこで発生するか予測できませんが、事前に備えることで事業の存続と迅速な復旧が可能になります。

本ワークショップでは、東日本大震災で災害対応にあたった講師の経験談を交えながら、自然災害等のリスク認識や対応策検討のポイントなどを解説し、計画策定の第一歩を支援します。

【事業継続力強化計画とメリット】

中小・小規模事業者が、自然災害発生時の被害を軽減することを目的に、事前に策定する計画です。対応策をあらかじめ定めることで、従業員の安全確保、事業の継続や早期復旧、被害の最小化が期待できます。近年は計画の認定を受けることで、税制優遇や金融支援、補助金申請時の加点、損害保険料の割引など、国の支援も充実しています。

会場

北九州商工会議所9階ホール

(北九州市小倉北区紺屋町13-1)

※専用駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください

日時

令和8年2月5日(木)[第1部]
2月20日(金)[第2部]

いずれも13:00~15:30

定員

10事業所

(先着順です、定員になり次第締め切らせていただきます)

申込方法

右記の二次元コードもしくは
当会議所HPからお申し込み
ください



必要な物

ノートパソコン(当日、パソコン
を使用して行動計画を策定します)

むなかた経営企画研究所

代表 狭間 流 氏

計測制御機器メーカーにて、電力・石油・化学・鉄鋼などのプラント制御システム開発に従事。早期退職後、リスクマネジメント会社で東京都のBCP策定支援事業に参加し、中小企業のBCP策定を指導。福岡へUターン後、中小企業診断士として独立し、現在は(独)中小企業基盤整備機構のアドバイザーとして、事業継続力強化計画の策定指導も行っている。

元:(独)エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)

久慈国家石油備蓄基地 青山 正幸 氏
事務所所長

通商産業省(現・経済産業省)に入省後、北海道・東北の各経済産業局、産業保安監督部で勤務。JOGMECに出身し、久慈国家石油備蓄基地事務所所長として従事中に東日本大震災に遭遇、事業の復旧活動に携わった。経産省に帰任後は、関東東北産業保安監督部東北支部鉱務監督管理官を務め、在職中から退職後の現在に至るまで、震災での経験を踏まえ、BCPに基づく対応事例や震災時の取り組みをテーマに、講演を行っている。

講師プロフィール

セミナー内容

1日目

1.事業継続力強化計画の理解

- ◆BCP(事業継続計画)と事業継続力強化計画との違い
- ◆災害を想定した具体的な活動概要

2.東日本大震災の経験

- ◆あの時何が起きたか
- ◆久慈国家石油備蓄基地における震災対応の教訓

3.ワークショップ被害想定編

- ◆事業継続力強化計画の目標
- ◆自然災害等による事業活動への影響

2日目

1.ワークショップ実践編

- ◆事業継続力強化の内容
- ◆教育訓練の方法

2.事業継続力強化計画認定企業への支援策

- ◆5つの支援策について紹介

無受講料

主催：お問い合わせ

北九州商工会議所 中小企業振興課

担当：南・村里

TEL.093-541-0188 FAX.093-531-1759

E-mail:chushou@kitakyushucci.or.jp